

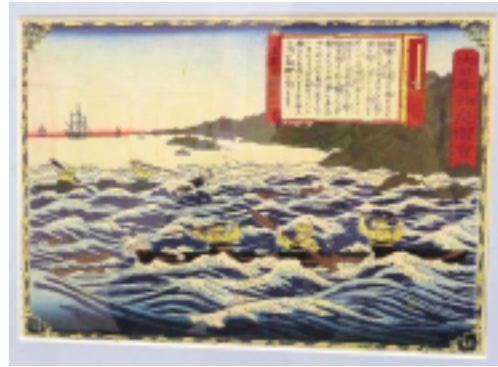


企画展でみるラッコの生態

根室市歴史と自然の資料館では、4月7日から6月14日の日程で企画展「らっこ展」を開催しています。

昨年2月から、釧路川にラッコ（くうちゃん）が現れ話題になっています。このラッコはおそらく、根室市歯舞群島の一つ、ハルカリモシリ島で繁殖しているラッコであると考えられます。当館は1996年に落石岬沖の定置網にかかって死んだ「チシマラッコ」の完全標本（はく製と骨格）を所蔵していることから、ラッコの生態や北方領土でのラッコの様子をパネル展示しています。チシマラッコの完全標本は、日本でおそらく当館しかもっていないと思われる大変貴重な資料です。

このほかに、ラッコ猟の歴史に関するコーナーも設けました。ラッコは上質な毛皮をもっているため、古くから狩猟の対象になりました。ラッコの毛皮はクロテン同様、中国で需要があり高値で売れたので、18世



明治時代のウルップ島での官営ラッコ猟の様子
(内山隆三氏寄贈)

紀のはじめから本格的なラッコの乱獲が始まりました。ロシアは、ラッコやクロテンの毛皮を求め東へと勢力を拡大していった関係で、18世紀の終わりごろからロシアの船が千島列島を南下し、北方四島や根室付近に度々訪れるようになりました。そして、毛皮目的の乱獲のため、19世紀末ごろには千島列島の一部を除き、ラッコはほぼ絶滅したといわれています。

道東のアイヌの人々にとっても、ラッコやクロテンは和人との重要な交易品でした。道東アイヌの人々は択捉島やその隣のウルップ島まで出猟してラッコを捕り、ときにはロシア人と交易もしていたようです。展示では、アイヌの人々が交易を行い入手したガラスのネックレスや、明治時代のラッコ猟の様子を描いた錦絵なども展示しています。

(学芸員 猪熊 樹人)



落石岬沖でみつかったラッコ

編集後記

■人事異動により4月1日より広報を担当となりました。何かと不慣れな部分がありますが、分かりやすく、楽しい広報紙づくりを目指します。よろしくお願ひします。
(K)

KUMON
“5月無料体験学習 受付中”
 期間：5月18日(月)～5月31日(日)
 教科：算数・数学、英語、国語
 「無料体験学習」は2週間で4回、教室にて学習を体験していただく機会です。たゞいま、お申し込みを受け付けております。
お申し込みは下記教室へ

根室光洋教室	光洋町3-83	23-3959	小川
根室宝林教室	月岡町1-2	23-6069	石森
根室西浜教室	西浜町3-145	24-9875	宮下
根室東教室	汐見町2-115	24-6620	千葉

期間/4月29日～7月26日
春国産海岸潮干狩
 ●大人(中学生以上) 1名 **1,500**円(税込)
 ●子供(小学生) 1名 **1,200**円(税込)
 ーお申込み、お問い合わせは、下記までお電話下さいー
JF 根室湾中部漁業協同組合
 TEL(0153) 25-3131
<http://www3.ocn.ne.jp/~wanchuub/>
根室市観光協会
 TEL(0153) 24-3104